

「Magic xpa
powered by
FJcloud」
オンラインセミナー

2020年8月4日

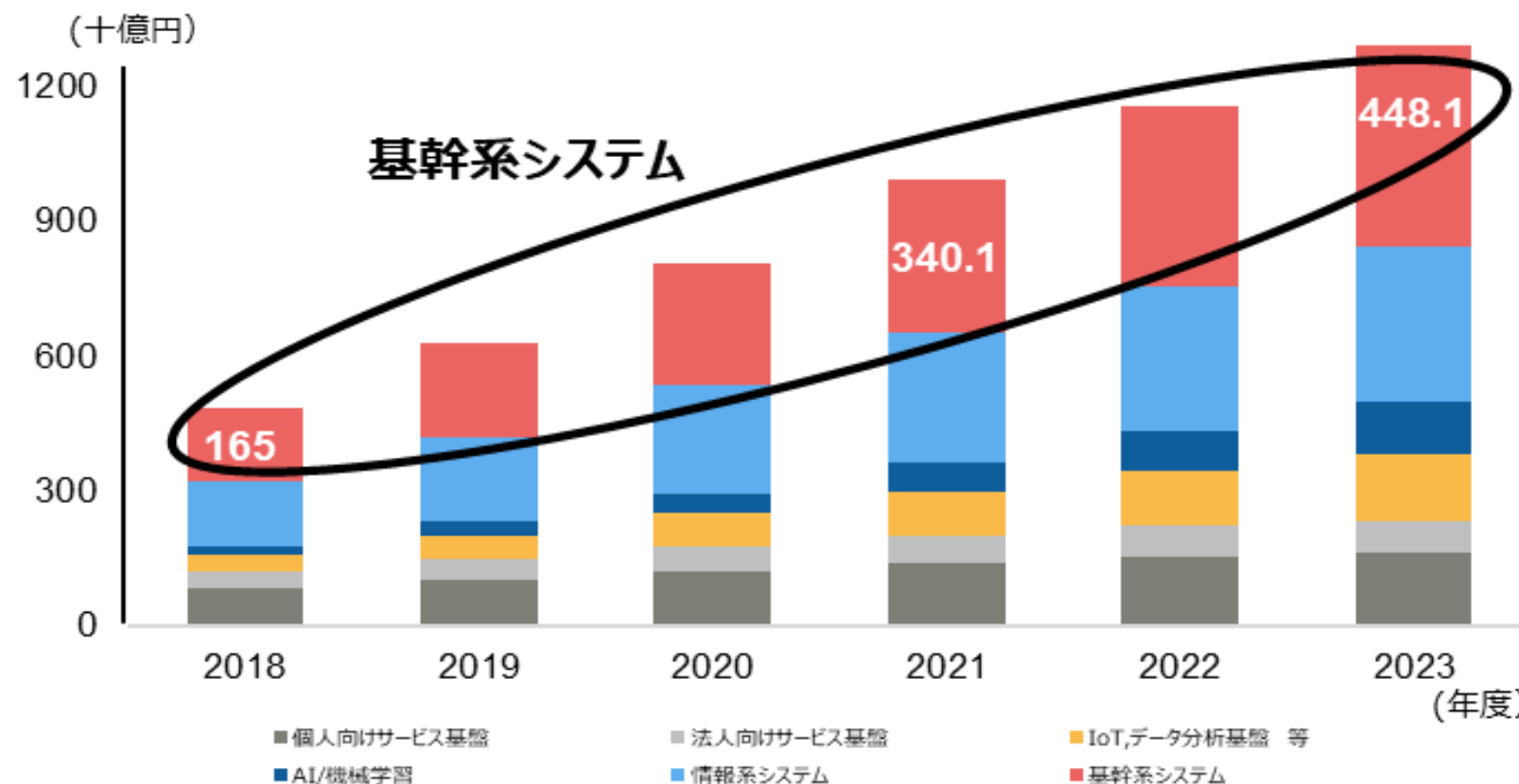
FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-0 のご紹介

～ クラウド化で真価を発揮！超高速開発ツール「Magic xpa」
が変革する次世代アプリ開発 ～

富士通株式会社

基幹システムのクラウド移行が本格化

- 情報・フロントシステムに加え、基幹システムのクラウド移行が本格化



※2019年度見込、2020年度以降は予測

出典: 富士キメラ総研「2020 クラウドコンピューティングの現状と将来展望」(引用承諾済)

富士通のクラウドサービスラインナップ

- お客様のご要望にお応えする多様なクラウドサービスをラインナップ
- 8,000社を超えるお客様にご提供

FUJITSU Hybrid IT Service

OSSベースのクラウドサービス
FJcloud-O

VMwareベースのクラウドサービス
FJcloud-V

ベアメタルクラウドサービス
FJcloud-ベアメタル

Microsoft 社のAzureを活用したクラウドサービス
for Microsoft Azure

Amazon社のAWSを活用したクラウドサービス
for AWS

Magic xpa powered
by FJcloud



※FUJITSU Hybrid IT Service クラウドを抜粋

FUJITSU Hybrid IT Service FJcloud-Oとは

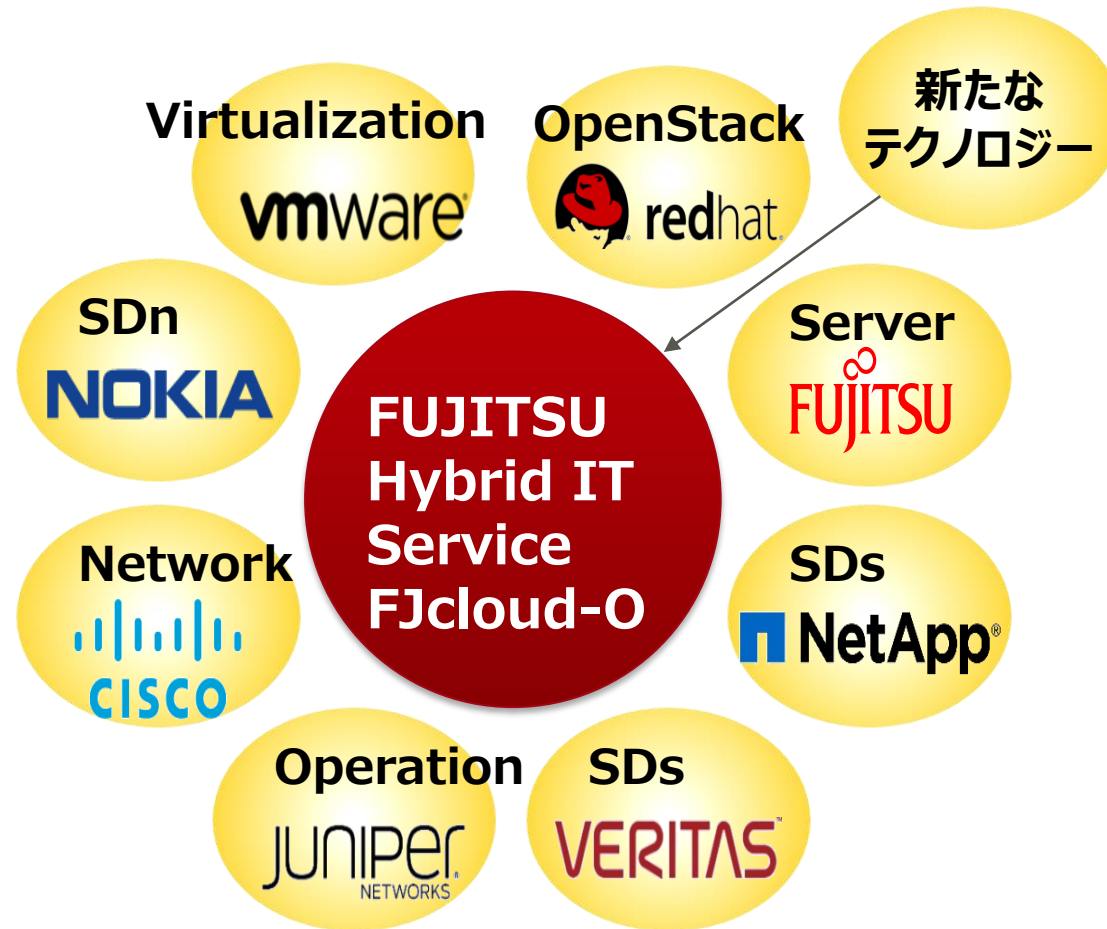


- オープンソースを採用した富士通が構築、運用する国産クラウドサービス

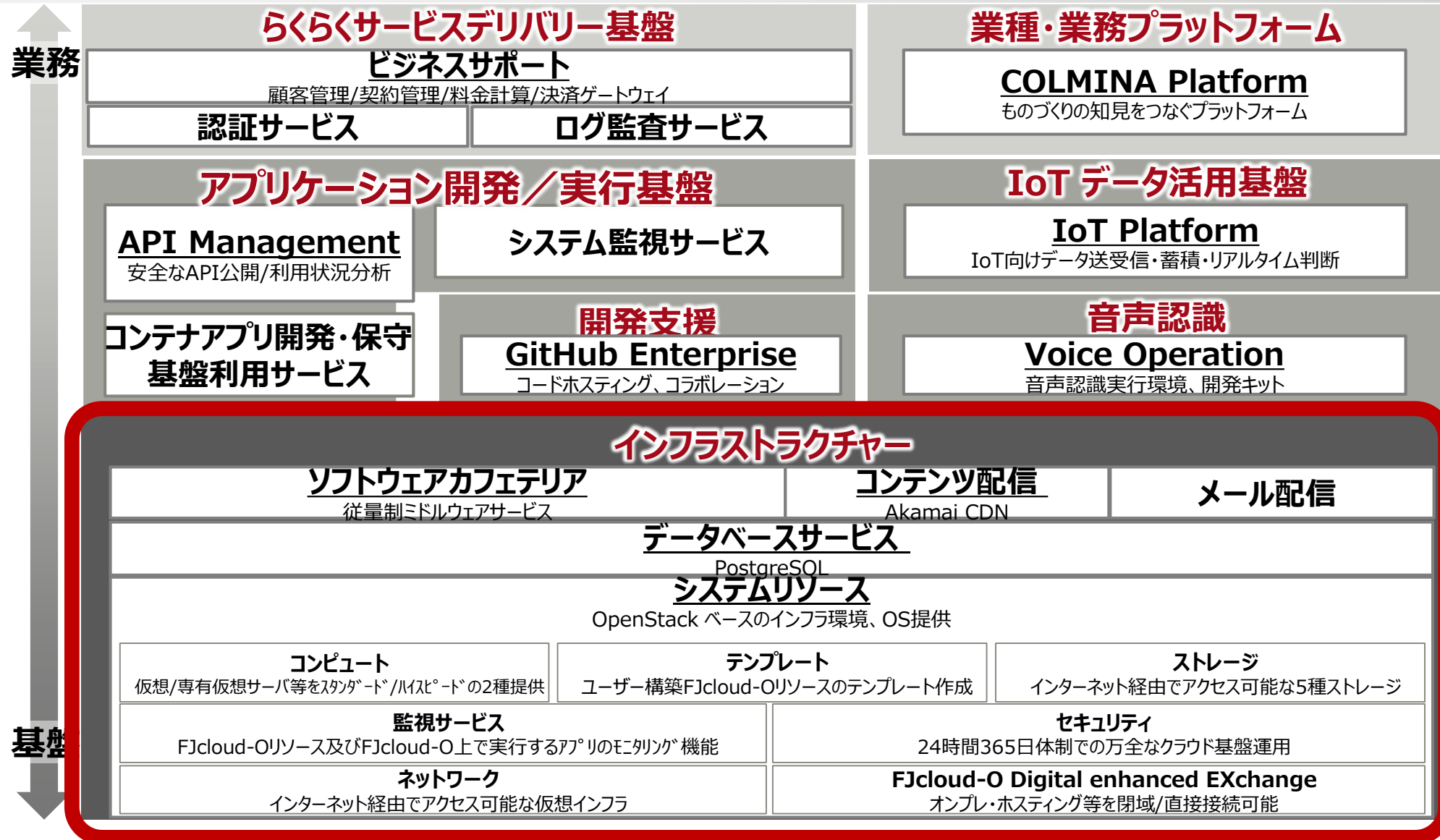


世界トップレベルの技術で構成された最先端のクラウド

- 世界トップベンダと協業し、最新／最高のテクノロジーコンポーネントを
インテグレーション → 常に最先端のクラウドに

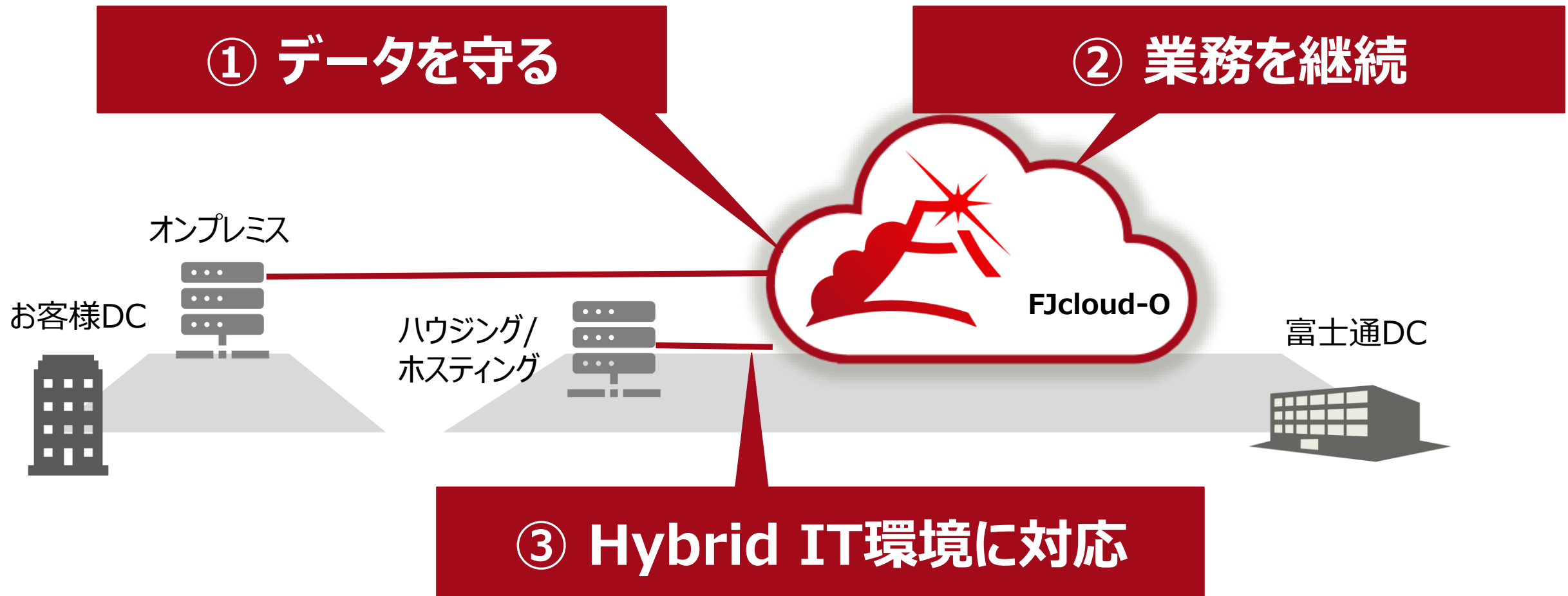


FJcloud-O サービスメニュー



特長

- FJcloud-Oは基幹システムの移行に最適なクラウドとして、高信頼・安心安全な、Hybrid IT環境にも対応したサービスをご提供



特長① データを守る

【お客様課題例】

データは企業にとって重要な資産
万が一にも消失・流出しない、絶対的な安心が必要

FJcloud-Oで解決！

国産クラウドで
お客様データの
国外流出抑制

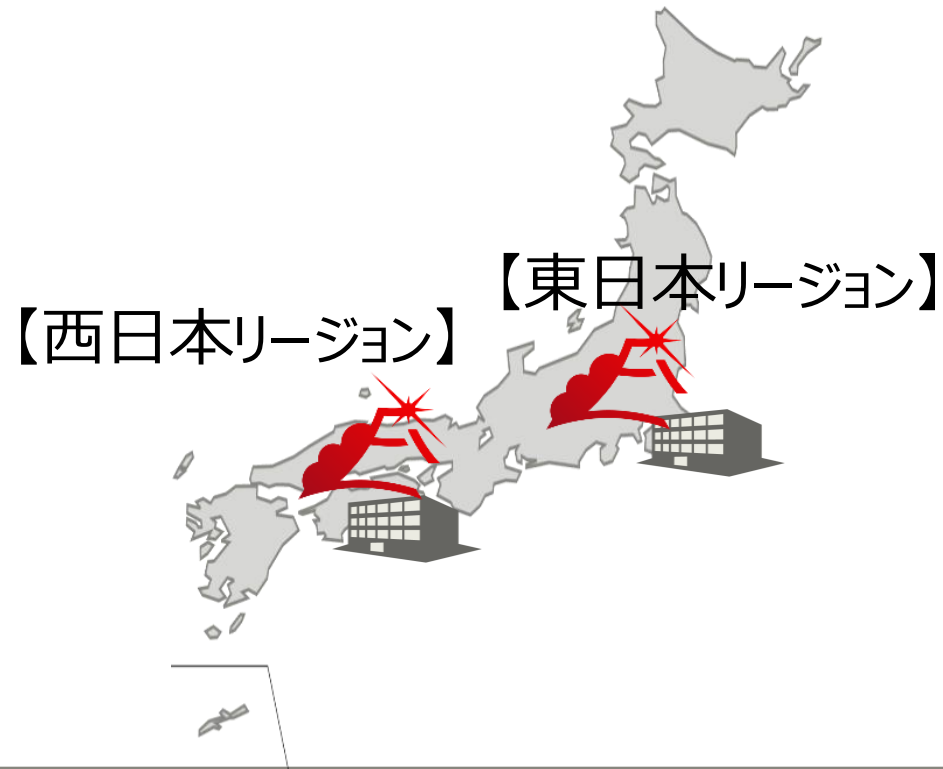


ニーズに応じた
専有環境提供



サービス基盤は国内の堅牢な富士通DCにあるため
データの国外流出リスクがなく安心・安全なクラウドサービスを提供

サービス提供拠点が国内



海外の法律によるデータ開示が不要

| | 法律 | 概要 |
|------|---|---|
| アメリカ | 米国CLOUD法 (Clarifying Lawful Overseas Use of Data Act) | 裁判所の要求により米国クラウド企業は、サーバのありかが国内/国外を問わず、データを引き渡さなければならない |

米国クラウドを利用した場合、日本企業のデータであっても日本国内外に保存したデータに対して政府/捜査機関から「閲覧/差し押さえ等」が合法的に行われる可能性がある

堅牢なデータセンターから提供

✓ ITインフラの品質向上に貢献する国内最高水準の自社データセンター

✓ JDCC Tier4※ 相当、最新鋭のセキュリティ設備を実装

※1 日本データセンター協会が定めるファシリティ基準

継続稼働・省エネルギーを実現する設備



センター標準ラック



免震装置(高減衰積層ゴム)



非常用自家発電機



熱流体シミュレーション

万全なセキュリティ



金属探知機



監視カメラ



手のひら静脈認証装置



KeyStation



鍵管理ボックス



館林データセンター

- 変電所分離
- 3つの電力会社から電力供給(東京電力/東北電力/中部電力)
- UPS(無停電電源装置)冗長化
- 自家発電設備設置、電源二系統化
- 太陽光発電や外気を取り入れたグリーンエネルギーも採用
⇒ 万一の冷却機障害にも強い

- 公的認証・規格への対応を進め、安心安全なクラウド環境を提供

取得／準拠対応状況

- ISO27001
- ISO27017
- PCI DSS
- SOC1, SOC2 Type2
- FISC安全対策基準



* 様々な規格に今後も継続して対応予定です

※各種認定書および報告書の開示についてはお問合せください。

※2020年6月時点の状況です。内容は予告なく変更しますので最新状況をお問合せください。

各種認証・規格が取得された安心・安全なクラウド基盤を利用可能

特長② 業務を継続

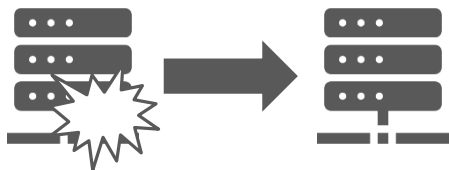
【お客様課題例】

基幹システムは24H365D稼働し続けるからこそ
透明性があり信頼できるインフラが必要

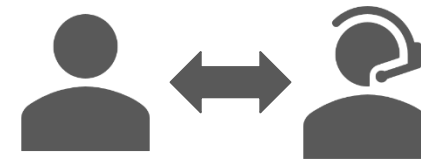
FJcloud-Oで解決！

ITシステムのハード、ソフト障害はゼロにはならないが

障害が起きても
業務影響を与えない基盤構成



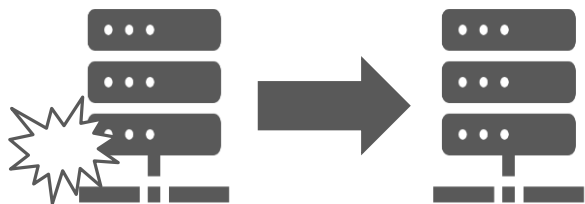
問題発生時の透明性が高い
サポート



障害が起きても業務影響を与えない基盤構成

■ 業務の継続性を徹底追求したサービス基盤構築・運用を実施

標準のHA機能



HA機能
物理サーバーの故障時には
自動的にフェイルオーバーを実施

切り替わりが正常に行われるための
全体リソースの適正管理や監視を
徹底して実施

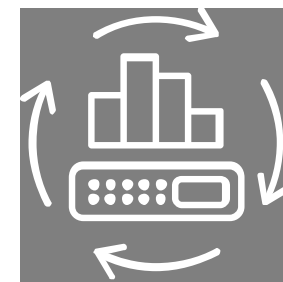
完全に冗長化された コンポーネント



サーバー、ネットワーク、ストレージ
等の全コンポーネントについて
完全に冗長化

全てのメンテナンスやリプレース
において一切のシステム
停止なく実施が可能
(ポータル/APIは停止の場合あり)

徹底した自動化と プロアクティブ運用



徹底した自動化により
属人化を排除し、
質の高い作業品質を確保

事後作業に振り回されるのではなく
効率化や未然防止などのプロアク
ティブ活動を実施

問題発生時の透明性が高いサポート対応

- 自社で設計/構築/運用している強みを活かし、お客様へ迅速/丁寧な対応を実施

一般的なクラウドサポートの課題

**クラウドの内部はブラックボックス
(情報非公開)**

原因調査の
協力が得られない
(ログ非公開 etc)

詳細原因・
再発防止策が
公開されない

調査が行き詰まる

迷宮入り



FJcloud-Oでの対応

**業務継続を第一に考えた
お客様サポート(情報公開)**

お客様/担当SEと
連携した原因調査

詳細原因・
再発防止策を
丁寧に説明

調査が着実に進む

問題解決



特長③ Hybrid IT環境に対応

【お客様課題例】

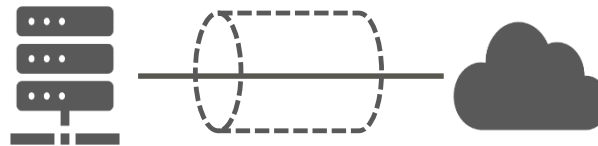
複数のサブシステムが連携する基幹システムをクラウド化することは困難

FJcloud-Oで解決！

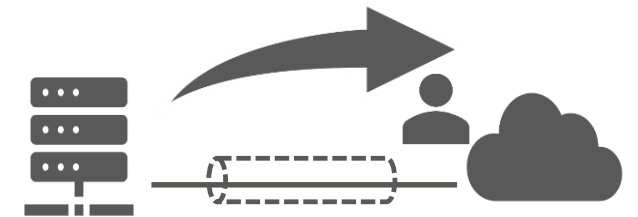
既存資産を生かした
段階的なクラウド移行



シームレスな構成を
実現する
ネットワークサービス

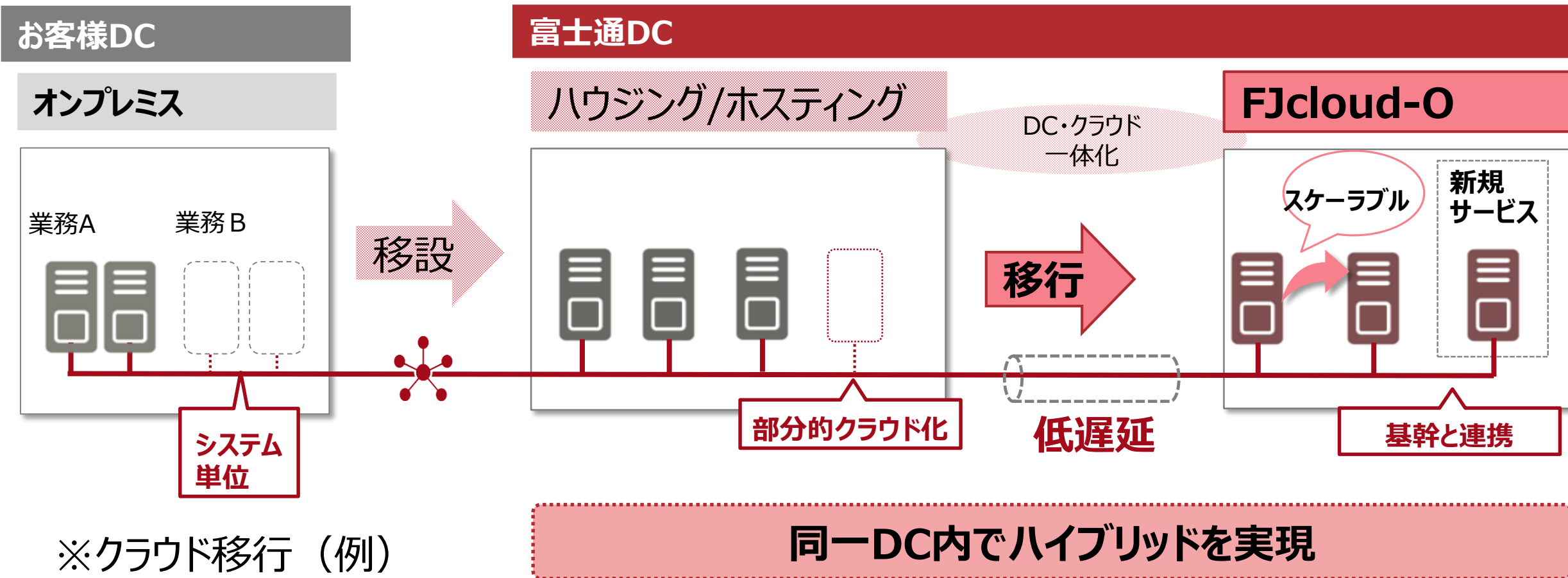


豊富な移行パターン



既存資産を生かした段階的なクラウド移行

- ハウジング/ホスティングを活用することで、オンプレミスの段階的なクラウド化が可能

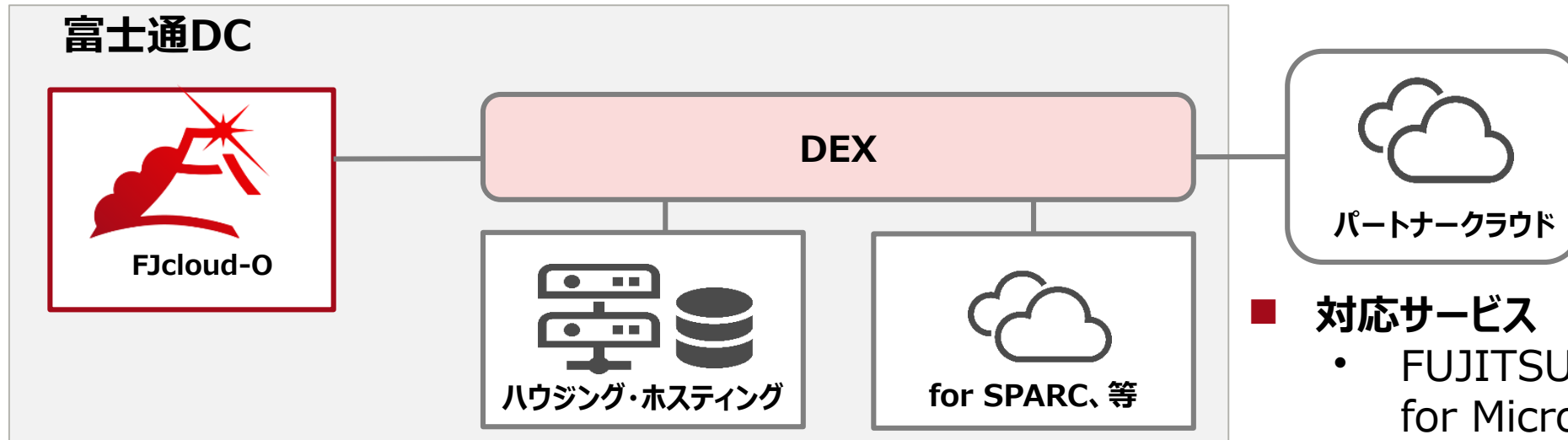


シームレスな構成を実現するネットワーク

2020年8月提供
開始予定



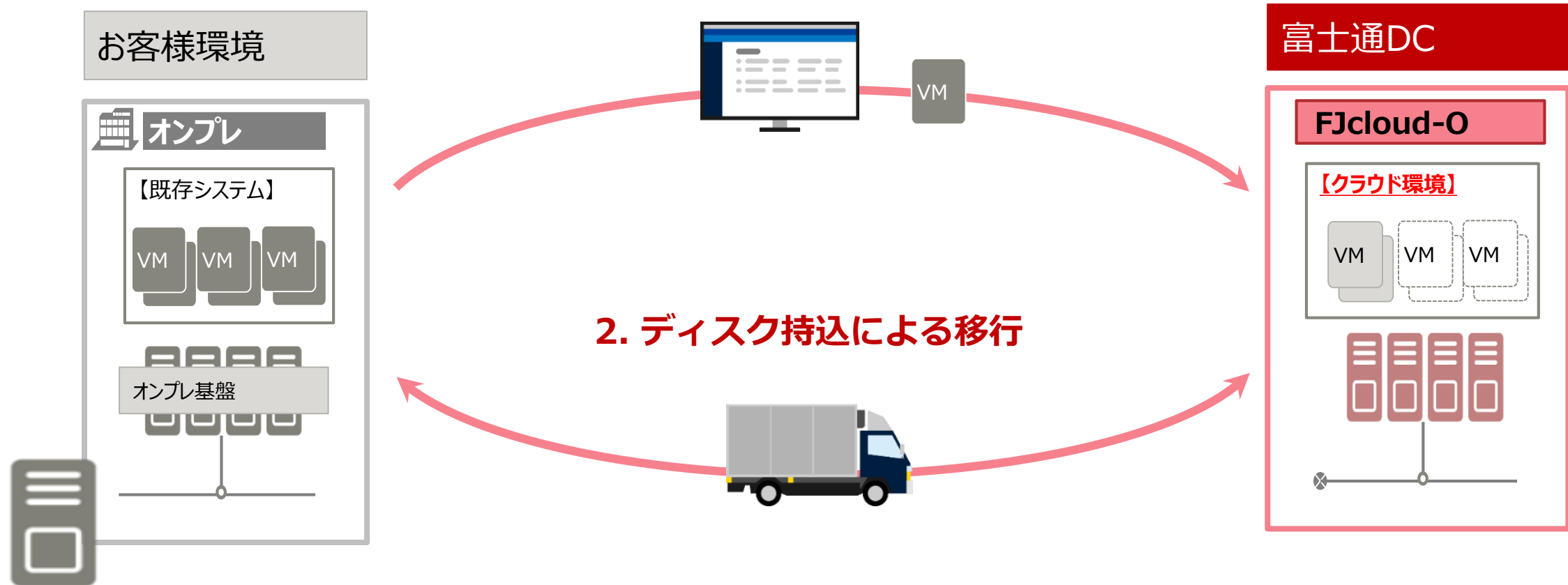
- Digital enhanced EXchange(DEX) 活用することで様々なサービスへのシームレスな接続を実現
 - FJcloud-OはDEXを経由することで富士通DC内にあるサービスのみならずパートナークラウドへ回線手配を行うことなくプラグイン感覚で接続可能
 - インターネットを経由しない閉域ネットワークにより、セキュアな接続環境を提供
 - DEXから各サービスへのネットワーク構築・運用は当社が行うため、容易なハイブリッドIT環境の構築が可能



- 対応サービス
 - FUJITSU Hybrid IT Service for Microsoft Azure
 - FUJITSU Hybrid IT Service for AWS

- システム仕様やスケジュールに合わせて適切な移行パターンの選択が可能

1. 仮想サーバのインポート



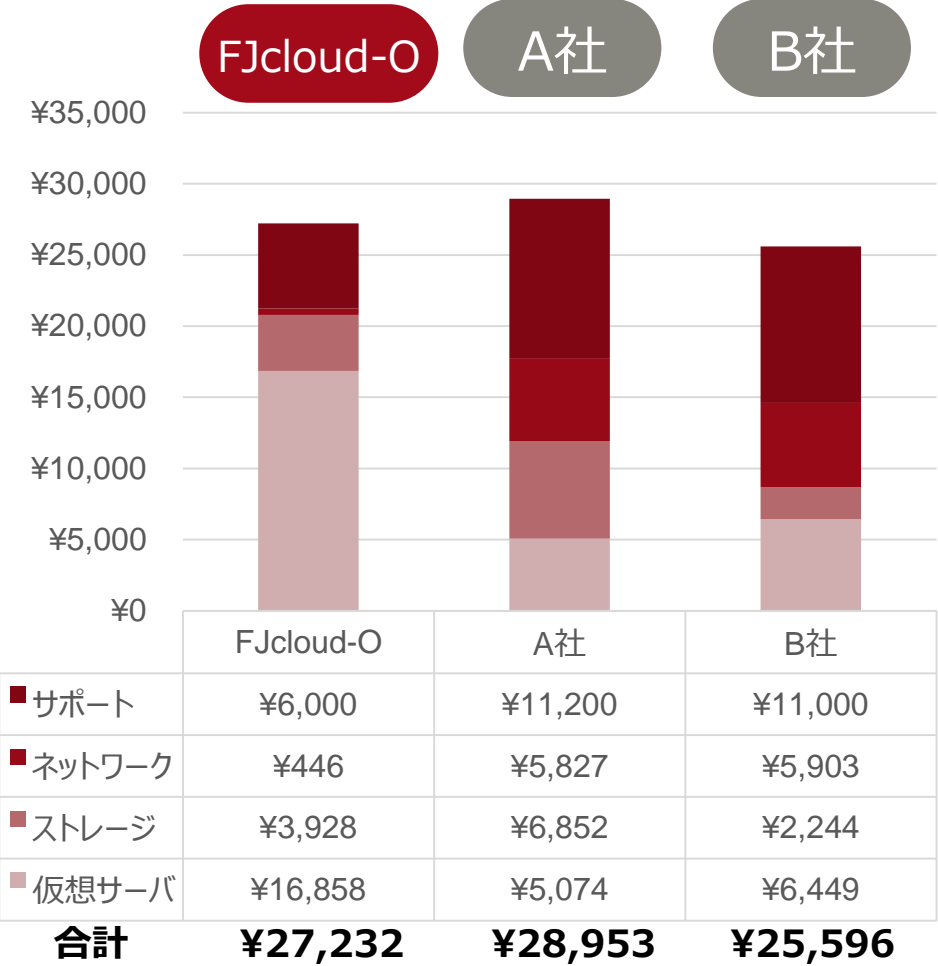
他社クラウドとの価格比較

■月額(24時間・31日間) 料金、為替レート：¥110換算
※インターネット（アウト）500GB



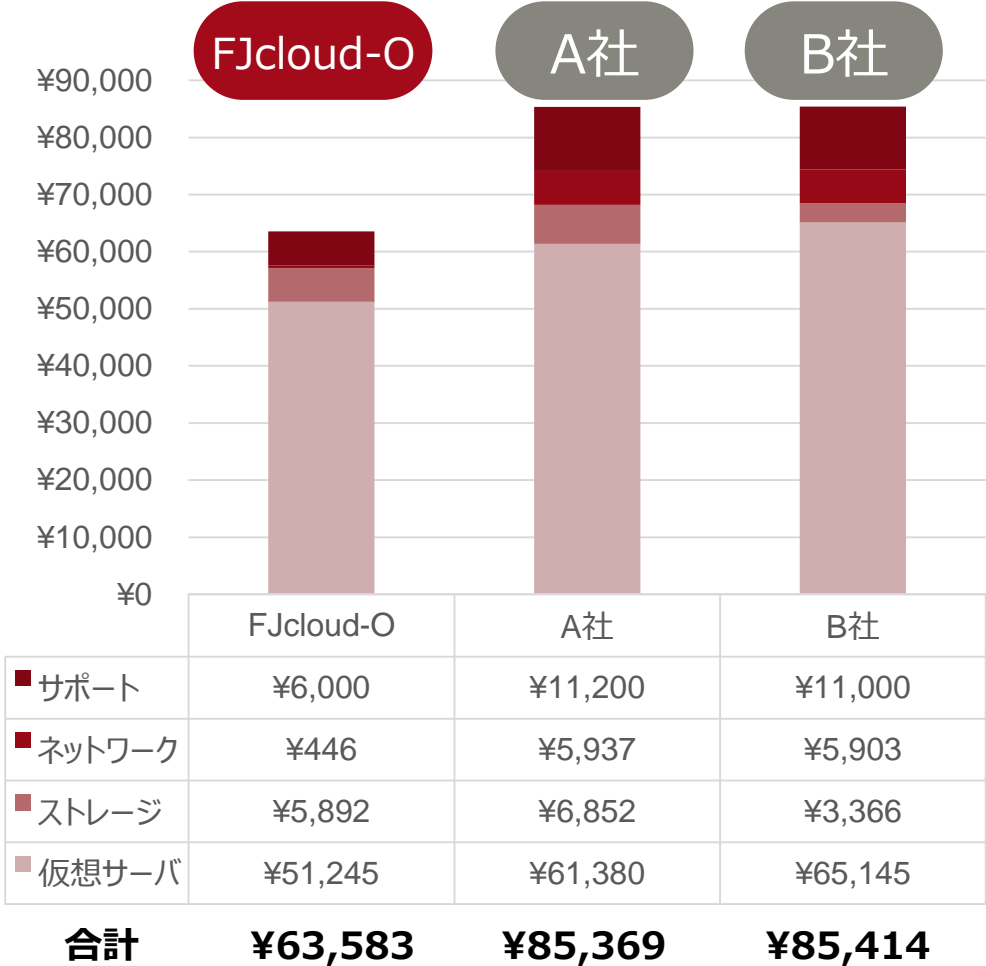
小規模構成

2vCPU-4G RAM + 増設SSD-40G の構成



中規模構成

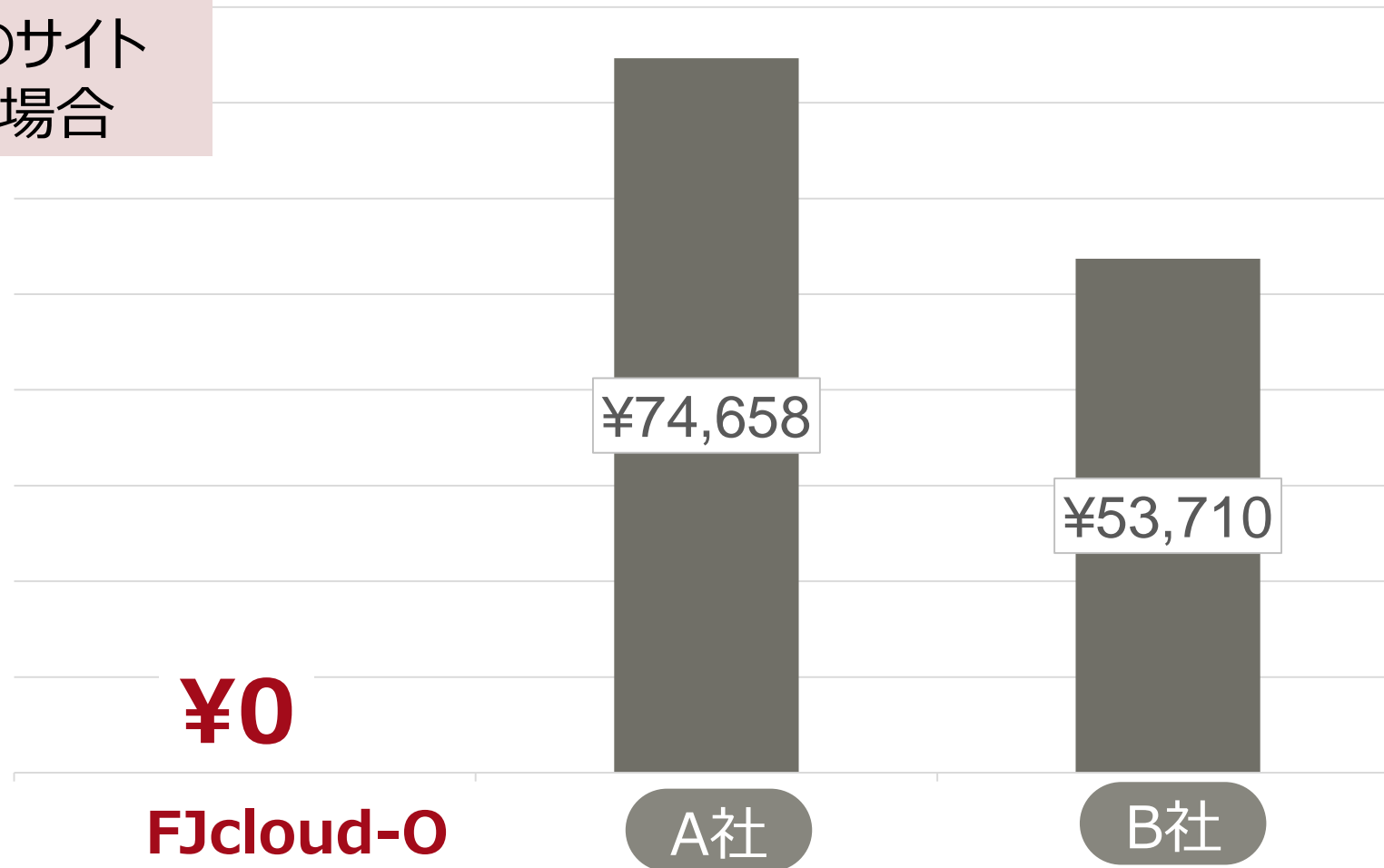
8vCPU-16G RAM + 増設SSD-100G の構成



他社クラウドとの価格比較

例：ホームページ閲覧の場合
1PV当たり5MBのサイト
月間100万PVの場合

ネットワーク転送料金（月額）

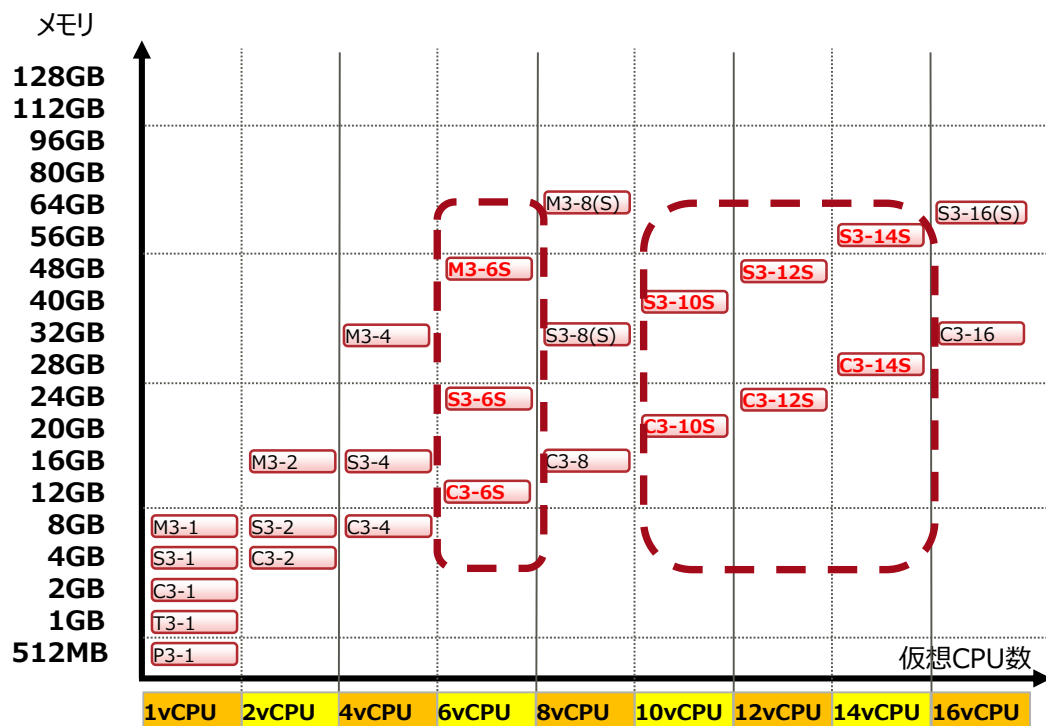


※FJcloud-Vは上り/下り10TBまで無料です

新フレーバー追加（2020年6月～）

- スペックのフレーバーを拡充し、よりきめの細かい用途に応じることが可能に
- プロセッサライセンス式のソフトウェア製品でも最低限のライセンスコストに

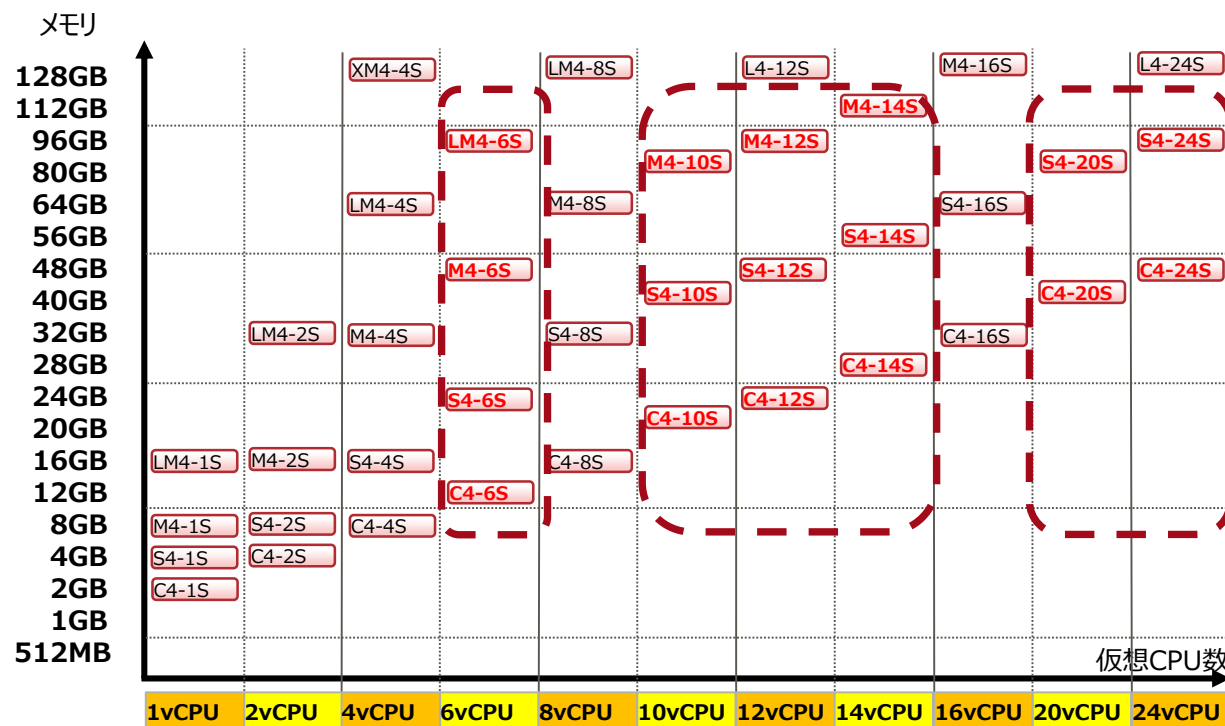
仮想サーバタイプ スタンダードCPU 1.3~2.1GHz 相当



■ スタンダードタイプ : 28種(+9種)

仮想サーバタイプ ハイスピードCPU 2.6GHz 相当

新フレーバー



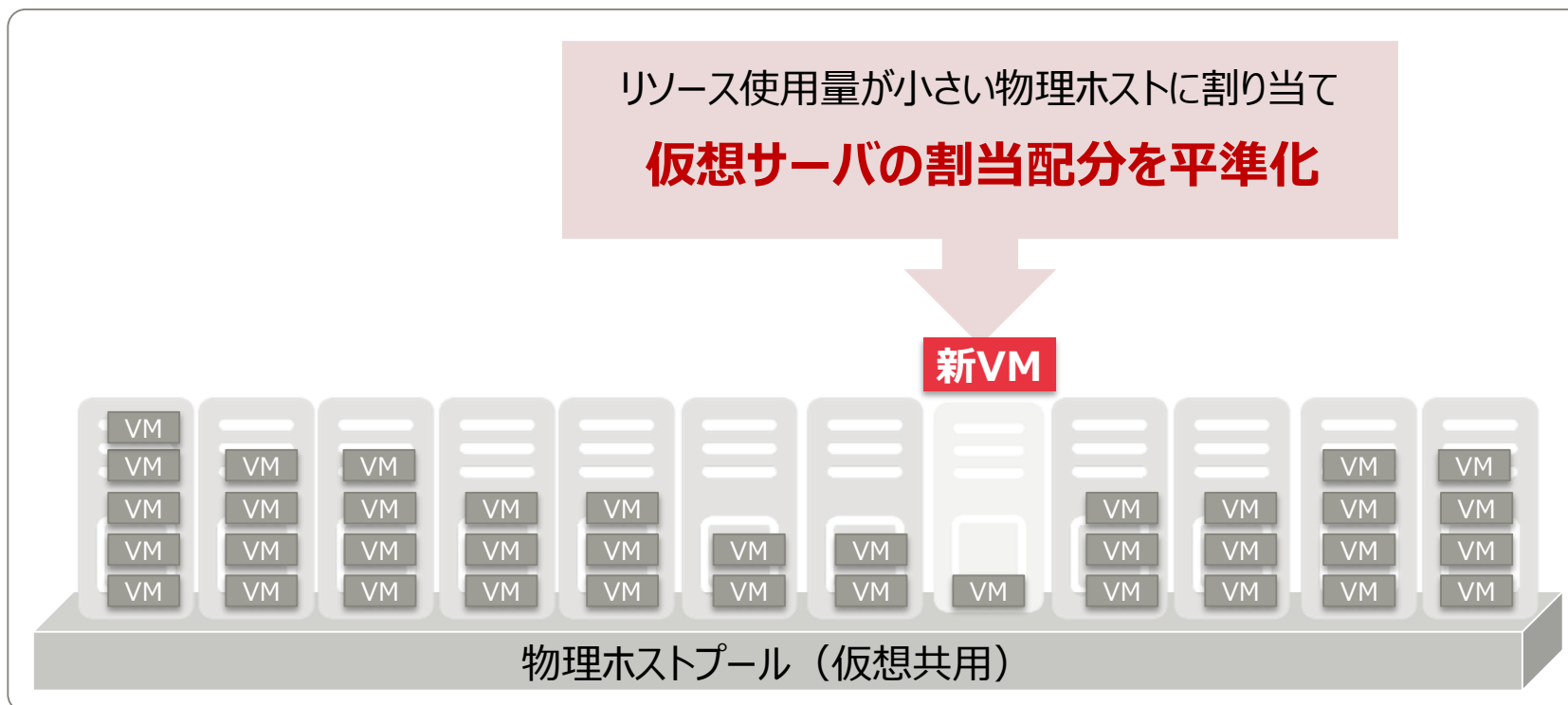
■ ハイスピードタイプ : 39種(+17種)

東日本リージョン3、西日本リージョン3で選択ができるフレーバーです

安定したコンピュータリソース提供

✓ OpenStack機能により、仮想サーバの割当配分を平準化

- 新しい仮想サーバ（VM）はリソース使用量が小さい物理ホストに割り当てられるため安定したコンピュータリソースを利用可能

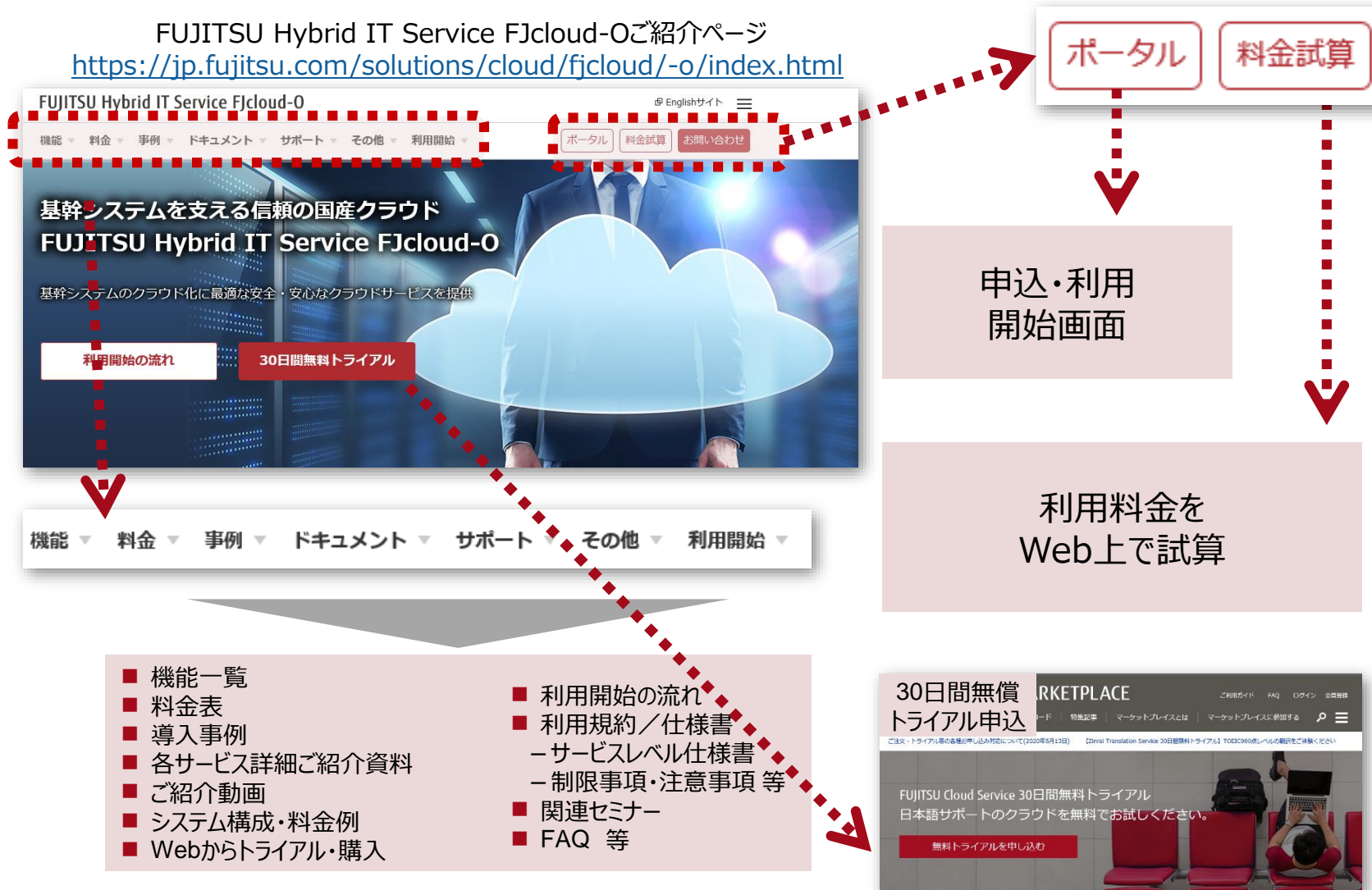


安定したコンピュータリソースを利用可能

関連資料

関連情報・資料 (1/3)

■ FJcloud-O関連情報・各種資料は下記公開サイトよりご参照いただけます



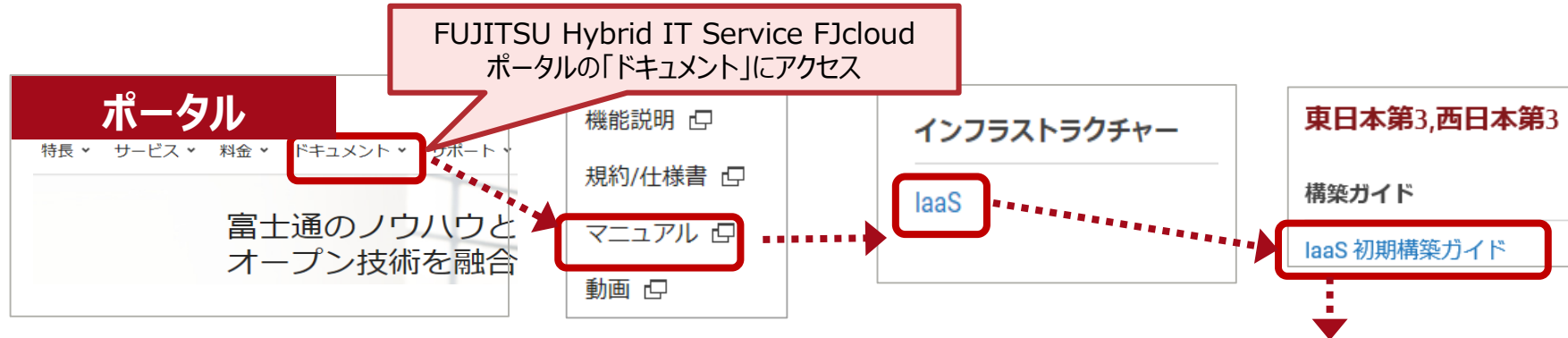
- FJcloud-O 関連詳細資料は、FUJITSU Hybrid IT Service FJcloudポータル(ID不要)よりご参照いただけます。



■ IaaSを初めて構築される方向けの導入マニュアルを掲載しております。

(各種リソースの作成方法解説) ※契約前のお客様も参照頂ける構築ガイドです。

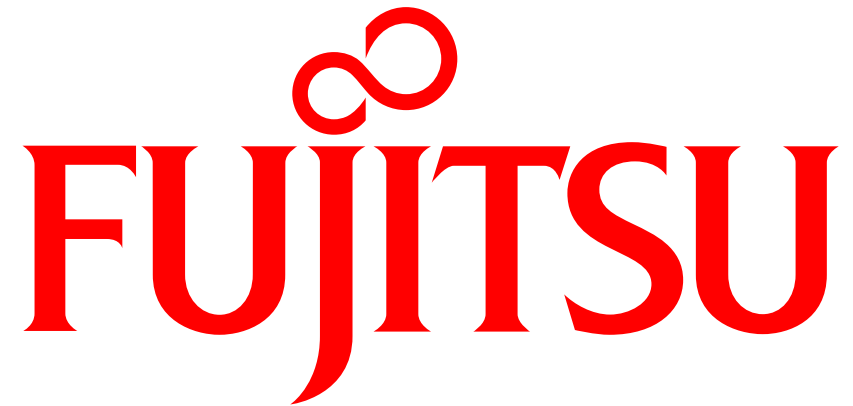
<初期構築ガイドURL> https://doc.cloud.global.fujitsu.com/lib/iaas/jp/initial_guide/index.html



The screenshot shows the Fujitsu Cloud Service for OSS initial setup guide. The page title is 'FUJITSU Cloud Service for OSS 初期構築ガイド'. The left sidebar contains a table of contents with links to 'はじめに' (Introduction), 'まえがき' (Preface), '事前準備' (Preparation), '前提' (Prerequisites), 'ネットワーク構築' (Network Construction), '仮想サーバ構築' (Virtual Server Construction), 'SSL-VPN構築' (SSL-VPN Construction), 'SSL-VPN接続' (SSL-VPN Connection), '仮想サーバ接続' (Virtual Server Connection), and 'API実行権' (API Execution Rights). The main content area is titled 'まえがき' (Preface) and contains the following sections:

- 本ガイドの目的** (Purpose of this guide): This guide is for users who are using FJCS for OSS (以降、本サービス) for the first time. It explains the purpose of the guide and the steps to follow.
- 対象リージョン** (Target Region): This guide is for users who are using FJCS for OSS in the East Japan Region 3 and West Japan Region 3. It explains the target regions and the steps to follow.
- 対象読者** (Target Audience): This guide is for users who are using FJCS for OSS for the first time, or for users who want to use the GUI (Portal or IaaS Portal) to operate the system.
- 前提／参照ドキュメントおよびURL／注意事項／商標** (Prerequisites / Reference Documents and URLs / Notes / Trademarks): This section provides information on prerequisites, reference documents, URLs, and trademarks.

The right sidebar contains a diagram titled 'SSL-VPN構築' (SSL-VPN Construction) and 'VPNサービスの作成' (Creation of VPN Service). The diagram shows the network architecture for SSL-VPN construction, including the external network, virtual router, virtual network, and virtual server. It also shows the steps to create the VPN service, including the creation of the virtual network, the virtual server, and the VPN service.



shaping tomorrow with you